

2019年1月 第4号

熊本大学 学生支援室だより

～There is always light behind the clouds.～



☆学生支援室だより第4号発行によせて

いよいよ2019年がスタートしました。皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。「学生支援室だより」も第4号の発行となりました。



この「学生支援室だより」では、熊本大学において学生支援室がどのような支援を行っているかについて、わかりやすくお伝えしています。

学生支援室のことや大学生の支援について、皆様に知っていただけるよう今年も頑張っていこうと思っております。

《学生支援室の活動状況》

■熊本大学男女共同参画推進フォーラムに参加しました

男女共同参画推進室よりご依頼いただき、9月20日(木)の男女共同参画推進フォーラムにおいて、LGBT等に対する本学での取り組みとして「旧姓・通称名及び別性使用の取り扱いについて」や「全学教育棟多目的トイレの環境作り」などをご紹介しました。人は多様な性に生まれるものです。誰もが過ごしやすい環境となるよう、少しずつではありますが取り組みを進めていきたいと思っております。(フォーラムの詳細は学生支援室ホームページをご覧ください。)

■薬学部合理的配慮説明会を開催しました

12月10日(月)、薬学部宮本記念館において医療系の先生方を対象に合理的配慮について研修会を実施しました。障がいのある方を取り巻く法律や熊本大学で行われている合理的配慮申請の流れや実例等を紹介し、意見交換も活発に行われました。

■ルーテル学院大学講演会へ参加しました

平成30年8月20日(月)、九州ルーテル学院大学よりご依頼をいただき、講演会「障がいのある学生の修学支援に関する講演会」に話題提供及びパネルディスカッションのパネラーとして参加させていただきました。「障がい学生支援室について」という題で、まず、学生支援室ではどのような支援を行っているかということを紹介しました。次に、支援の中には、学生のサポートが必要になることがあること、その学生サポートスタッフ育成の方法としてどんなことを行っているのか、ということを紹介し、学生サポートスタッフが「支援」について学び、成長しながら頑張っていることとお話させていただきました。

■後期SST (ソーシャルスキルトレーニング)『大学生のためのコミュニケーションスキル』が開催されました!

10月30日(火)から開催されたSST(全6回)に6名の学生の参加があり、大学生活を送る中での身近なコミュニケーション方法について学び、とても有意義な時間となりました。

■「平成 30 年度 熊本大学学生支援室 FD・SD 講演会」を開催しました



学生支援室では、信州大学教育学部教授の高橋知音先生をお招きし、「平成 30 年度熊本大学学生支援室 FD・SD 講演会」を 10 月 31 日（水）にくすの木会館にて開催しました。はじめに藤瀬昇学生支援室長より開会の挨拶を述べ、続いて井上寛子特任助教より熊本大学における障がい学生の支援状況について報告しました。その後、高橋知音先生より「障害のある学生への合理的配慮～制度改正により教職員に求められること～」についてご講演をしていただきました。高橋先生からは、合理的配慮の基本的な考え方についてや具体的な支援について、実習や実験、演習授業、試験や成績評価などの例を用いて説明をしていただきました。質疑応答では多くの質問があり、高橋知音先生にはどの質問にも大変丁寧に答えていただき、合理的配慮への理解を深める大変良い機会となりました。

司会進行は副島弘文学生支援室副室長、閉会の挨拶は河野美奈学生支援部長が行い、熊本大学学生サポートサークルによる要約筆記（文字通訳）も実施しました。（学生サポートサークルの皆さんはお疲れ様でした！）

参加者数は、大学内外の教職員、地域での連携組織である専門機関等を含め 77 名。アンケートでは〈大変有意義 64%・有意義 36%〉、〈とてもわかりやすかった 76%、わかりやすかった 24%〉という結果でした。

「この度の講演会で合理的配慮について、より深く理解できました。特に社会的障壁を取り除くことが重要なのだということがよくわかり勉強になりました。」「自分の授業の本質は何かを自分自身が問う、というきわめて重い課題を突きつけられたよい機会だった。」「具体例により大変わかりやすかった。支援を行う上での対話は改めて重要だと痛感した。」などの感想が寄せられました。



今回の学び



なるほど！！合理的配慮は、全ての学生が等しく学修する機会を与えられるようにと考えられたんだ。基本条件としては「①障害のある学生から意思の表明がある」「②根拠資料がある」「③過重な負担でない」「④教育の目的・内容・評価の本質（カリキュラムで習得を求めている能力や授業の受講、入学に必要とされる要件）を変えない」ということなんだ！

合理的配慮は、学生の意思表示（所属学部へ合理的配慮を申請すること）から始まります。合理的配慮の内容は、建設的対話（合理的配慮検討会）により、『学生のニーズ』と『大学が出来ること』を調整して決定されます。「困っているけど、何を申し出たらよいかわからない」「どういう手続きをとればいいのか分からない」などという場合、学生支援室のスタッフが一緒に考えます。お気軽にご連絡又は来室してください。



☆就活情報！一般雇用枠と障がい者雇用枠の違い、ご存じですか？☆

《一般雇用枠》

〈メリット〉

- ・昇給がある
- ・仕事の選択肢が多い
(大学で学んだ専門性を活かせる可能性がある)

〈デメリット〉

- ・理解や配慮を得にくい
(通院や体調が不安定なとき等何度も休みづらい)
- ・苦手な仕事(マルチタスク、臨機応変さ)を求められることが多い
- ・残業がある
- ・転勤や部署異動がある

《障がい者雇用枠》

〈メリット〉

- ・理解や配慮を受けながら働きやすい
- ・厚生労働大臣より認定された特例子会社の場合は、障がいのある方が多く在籍し、安定して働けるよう指導員も配置される

〈デメリット〉

- ・正社員の求人が少ない、契約社員の求人が多い
- ・給料がやや低いことがある
- ・昇給が少ない可能性がある
- ・希望する職種があるとは限らない

〈その他〉

- ・障がい者手帳(身体・精神・療育)の取得が必要



文部科学省～「障害のある学生の修学支援に関する検討会」第二次まとめ～において、

【就職において各大学等が取り組むべき課題】として、以下の項目があげられています。

- 職業観の涵養や自らの障がい特性、職業適性の理解、対処法の習得、権利擁護の知識や理解に関するプログラムの提供、障がいに配慮したアルバイトやインターンシップのための支援
- 就労形態の多様性や合理的配慮、相談機関や制度に関する情報提供
- 学内・学外(大学間、支援機関、就労先)の連携強化
- 支援内容の効率的な引き継ぎ

- ・発達障害者支援センター
- ・ハローワーク
- ・障害者職業センター
- ・若者サポートステーション
- ・市町村福祉課など



熊本大学
就職支援課の皆さんより

熊本大学就職支援課へ相談しながら、学生支援室でも就職に関する情報を取りまとめ、障がいのある学生へのインターンシップや採用試験に関する情報をお伝えできるように準備しておりますので、気軽にお尋ねください。

例年、3月頃より様々な企業説明会が始まります。本学でも職業適性診断テストやエントリーシートの書き方、面接対策等の就職準備講座や業界研究講座が開催されていますので、是非参加されてみてください！まずは、KUMA☆NAVIのご登録から始められてはいかがでしょうか！

《熊本大学学生サポートサークル活動報告》

熊本大学学生サポートサークルでは「パソコンテイク」「バリアフリーマップ」「手話」の活動を行っています。その中で今回はバリアフリーマップ作成のリーダーの濱田さんからの報告を紹介します。



バリアフリーマップ作成部門では、毎週水曜の1限の時間帯にバリアフリーマップの作成作業を行っています。大学の構内を、車いすを押しながら周りスロープや段差、トイレの広さなどを確認し、気になったことや改善すべきことについてグループのメンバーで意見を出し合い、地図上に書き込んでいきます。



現在、黒髪北キャンパスと南キャンパスのマップがホームページ上に掲載されていますが、まだ完成ではなく改良すべき点が見つければ確認を行い、逐一変更するようにしています。普段歩いているだけでは気づかない少しの段差や斜面、扉の構造などが車いすの方には障壁になり得るのだと実感し、毎回学ぶことがとても多い活動です。

誰かの役に立ちたいと考えている人には、自らのバリアフリーへの関心が高まり、視野を広げるきっかけとなると思うので、是非参加してほしいです。



■九州ルーテル学院大学集中講義へPCテイクの派遣を行いました！

九州ルーテル学院大学よりご依頼を受け、12月26日（水）～28日（金）に行われた医療心理学の集中講義においてパソコンテイクを行いました。九州ルーテル学院大学学生支援センターに登録され、日々パソコンテイクをされている学生と協力し、成し遂げられたという経験は、今後の学生サポートサークルでの活動にも力になっていくものだと思います。これを活かし、今年も積極的に取り組んでいきたいと思っています。



■◇■ サポートスタッフ募集!! ■◇■

学生支援室では、これまであったノートテイクサークルの活動を拡大し、様々な障がいへの支援が提供できる体制作りを進めています。名称を『学生サポートサークル』へと変更して活動中です。サークルでは、サポートスタッフとして活動をしてくれる学生さんを募集していますので、バリアフリーマップの作成やノートテイク、手話に興味のある方、誰かのために何かしたいと思っている方、質問からでも大丈夫です。下記までご連絡ください。



熊本大学 学生支援室 (Student Accessibility Support Room)

場所：黒髪北キャンパス 全学教育棟1階
開室時間：月～金 8:00～17:15(祝祭日を除く。)
TEL：096(342)2765, 2766
HP: <https://sien.kumamoto-u.ac.jp/>

